

資産運用レポート：投資家の降伏

1 はじめに

ハワード・マークスの新刊『市場サイクルを極める 勝率を高める王道の投資哲学』で一番印象に残っている箇所を引用します。

資産の価格が2倍や3倍に上昇している、あるいは半分に下がっている、という事態に直面すると、多くの人が、自分が愚か者で間違っているかのような気分を味わう。そしてブームで儲けている人や、価格下落の難を逃れた人に強い嫉妬心を抱き、抵抗を続ける意志を失うのである。

市場参加者は、ほかの者が稼いだカネ、そして自分が稼ぎ損なったカネのせいで苦しみ、その傾向（そして苦しみ）がさらに続くことを恐れる。そこで、群集に加われればその苦しみが終わると考えて降伏する。結局は、かなり価格が上がってしまった資産を買ったり、大幅に下落した資産を売ったりするのである。

恥ずかしながら、かくいう私自身も今まで何度か「群集に加われればその苦しみが終わると考えて降伏する」状況に陥ったことがあります。今回の資産運用レポートは、この「降伏」がテーマです。

★市場サイクルを極める 勝率を高める王道の投資哲学



多くの気づきを得られる良書です。出版されたタイミングもいいと思います。ぜひとも読んでみてください。